

平成29年度 新城市若者予算事業に関する答申書

新城市若者議会は、若者総合政策の実施に関して、平成29年度若者予算事業計画を策定しましたので、新城市若者議会条例第2条第1号に基づき、以下のとおり答申します。

平成29年度新城市若者予算 予算総額 9,552千円

1. 図書館リノベーション事業 4,949千円
図書館は本を読む場所という既成概念にとらわれることなく、様々な世代のニーズに応え、図書館の利用率UPや貸出数の増加など、多くの市民の生活の一部に図書館が選択されるようなリノベーションを提案します。
2. ハッピーコミュニティ応援事業 1,320千円
若者同士による活発なコミュニケーションを発生させ、若者が組織化し、自発的な活動が行われるような仕組みを作ります。さらには、既存の組織と世代を跨いだ交流をし、新城市を過ごしやすいまちにします。
3. 新城市若者議会PR事業 1,293千円
若者議会の認知度を向上し、若者議会への市内の理解者を増やします。また、新城市を若者が活躍するまちとして広め、市外の方に関心を持っていただき、足を運んでいただけるように働きかけます。
4. しんしろ魅力創出事業 1,366千円
新城市の魅力をもっと市内外の方に知ってもらうため、若者目線の観光PRと学校教育の魅力度UPの土台づくりをします。
5. いきいき健康づくり事業 41千円
市民の健康に対する意識を向上させるため、消費カロリーが非常に高く、今流行りつつあるバブルサッカー教室を継続します。
6. お喋りチケット事業 426千円
地域での支え合い活動の強化を目的に、高齢者にお喋りチケットを配布して高齢者と若者との繋がりをつくります。
7. 若者防災意識向上事業 157千円
災害時に活躍できる若者を増やし災害被害を軽減させるために、若者の防災を考える会の活動により、若者自ら防災意識向上を図ります。

平成28年11月2日

新城市長
穂積亮次様

新城市若者議会

議長 村松 里恵